

ProVisionaire Control

主なアップデート内容

ProVisionaire Control V3.0.1

仕様変更

- XMV シリーズの V3.31 のアップデートによるコマンド仕様の変更に対応しました。ProVisionaire Control V3.0.0 以前のコントローラファイルまたはプロジェクトファイルで XMV の Output Current をワークエリアに配置している場合は、再度プロジェクトファイルに Output Current をワークエリアに配置して、コントローラファイルをエクスポートしてください。

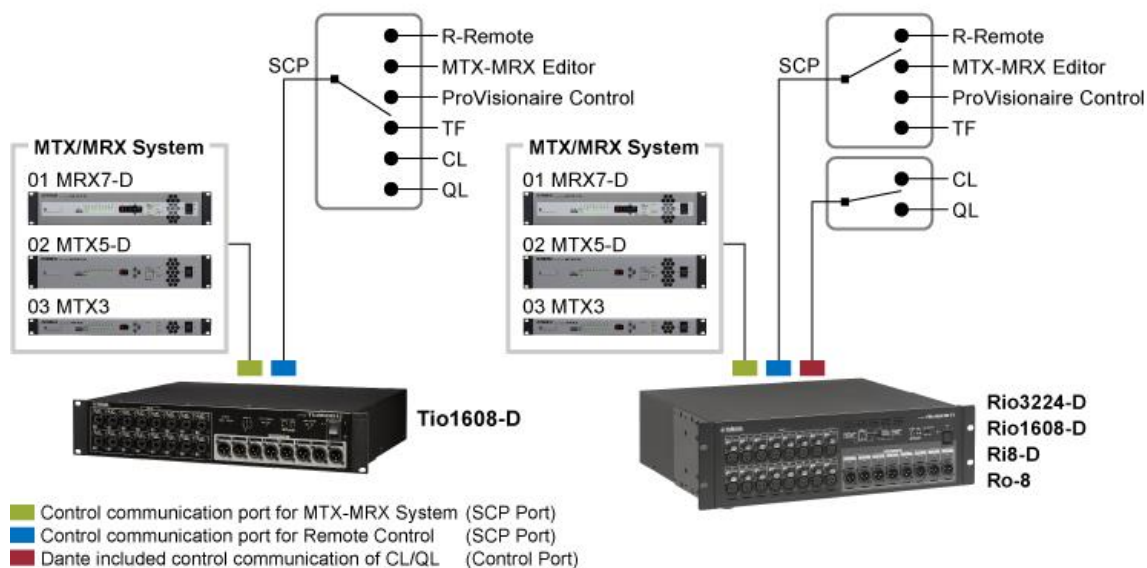
既知の不具合

- ProVisionaire Touch KIOSK でサポートしていない Tio1608-D が Export できてしまいます。Value ウィジェットなどで表示が正しくできません。
- Indicator ウィジェットで Shape を Polygon にしても、変形ができません。
- Meter ウィジェットで Tri Color を選択した場合、Gradient がかかりません。
- ネットワークカードの名称にマルチバイトの文字があると、「Setup」ダイアログの「Network」タブで Network Card Name が文字化けします。

お知らせ

- Tio1608-D を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF、R Remote、MTX-MRX Editor、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。
また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、TF、MTX-MRX Editor、R-Remote、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。

SCP Port of Tio/Rio



ProVisionaire Control V3.0.0

新機能

- ProVisionaire Touch KIOSK の V3 に対応しました。ProVisionaire Control で作成したコントローラーファイルを iPad に転送し、ProVisionaire Touch KIOSK で動かします。
- グループ化機能を追加しました。
- ウィジェットの見た目(Style)をインポート/エクスポート/デフォルト化(Master Style)できるようにしました。
- 直前に行なったプロパティの変更を繰り返し次のウィジェットにも適用させる機能を追加しました。
- デザインモードのとき、ウィジェットにマウスオーバーするとアサインされたパラメーターをツールチップ表示するようにしました。
- 各機種種のチャンネル名称を Value ウィジェットにアサインできるようにしました。(*1)
- XMV シリーズの出力電流と Limiter ステータスを表示できるようにしました。XMV シリーズのファームウェアを V3.30 以降にしてください。
- MRX7-D の Audio Detector のディテクションインジケーターに対応しました。
- MTX/MRX シリーズの SD カード内の音声ファイルを再生できるようにしました。
- 以下のウィジェットを追加しました。

- Inc/Dec ボタン、Direct Play ボタン、Play Info、Transport、Track List、Value、Indicator、Image
- NXAMPmk2、Rio3224-D2、Rio1608-D2、VXL シリーズ P モデルに対応しました。

*1) 表示されるチャンネルネーム一覧

	CL シリーズ、 QL シリーズ	TF シリーズ	MTX シリーズ	XMV シリーズ
Input Ch Name	○	○	○	-
ST Input Ch Name / Stereo Input Ch Name	○	○	○	-
Direct Input Ch Name	-	-	○	-
Fx Return Ch Name	-	○	○	-
Aux Ch Name	-	○	-	-
Mix Ch Name	○	-	-	-
Matrix Ch Name	○	-	-	-
ZONE Name	-	-	○	-
Stereo Ch Name	○	○	-	-
Sub Ch Name	-	○	-	-
Matrix Ch Name	-	○	-	-
DCA Name	○	○	-	-
Mute Master Name	○	-	-	-
Output Ch Name / Ch Name	-	-	○	○

改善点

- Devices」エリアで機器の昇順/降順の並び替えをできるようにしました。

- テキストの方向を変更できるようにしました。
- フォント選択時に以下のフォント群を選択できないようにしました。
- FixedSys、Modern、MS Serif、Roman、Script、Small Fonts、System、Terminal

修正した不具合

- XMV シリーズのデジタルインプットのメーターが動作しない不具合を修正しました。
- 自動検出した機器が LAN ケーブルの断線によって「Devices」エリアから削除されることがある不具合を修正しました。
- Button や Slider などの操作系ウィジェットを配置したあと、Line や Polygon などの表示系ウィジェットを近くに配置すると、操作系ウィジェットを KIOSK で操作できない不具合を修正しました。
- 解像度が異なるマルチディスプレイ環境下で他のディスプレイにウィンドウを移動させると、ウィンドウが表示されなくなることがある不具合を修正しました。

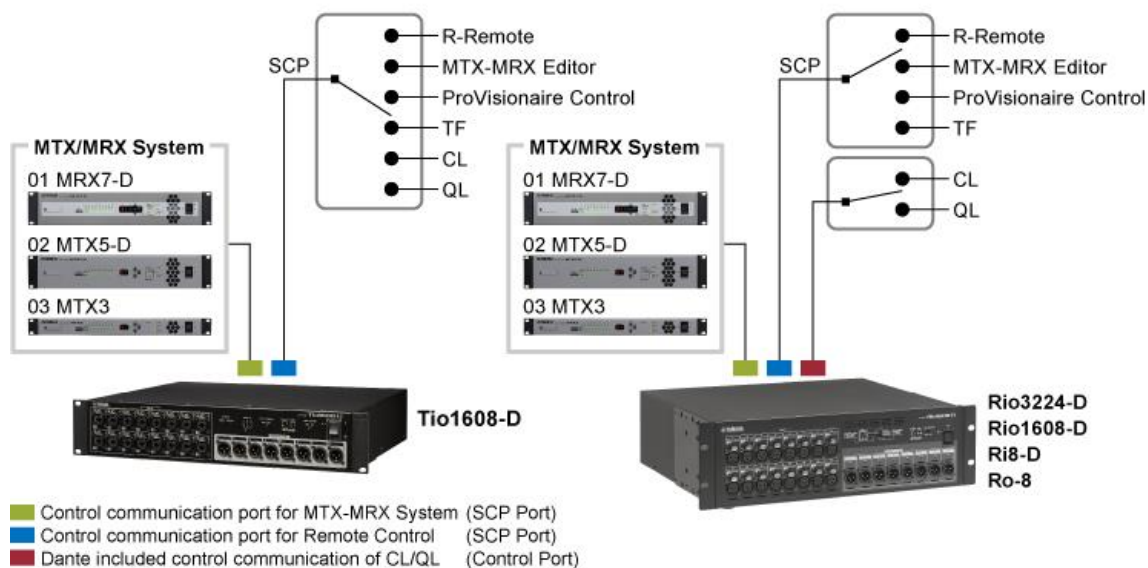
既知の不具合

- ProVisionaire Touch KIOSK でサポートしていない Tio1608-D が Export できてしまいます。Value ウィジェットなどで表示が正しくできません。
- Indicator ウィジェットで Shape を Polygon にしても、変形ができません。
- Meter ウィジェットで Tri Color を選択した場合、Gradient がかかりません。
- ネットワークカードの名称にマルチバイトの文字があると、「Setup」ダイアログの「Network」タブで Network Card Name が文字化けします。

お知らせ

- Tio1608-D を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF、R Remote、MTX-MRX Editor、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。
- また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、TF、MTX-MRX Editor、R-Remote、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。

SCP Port of Tio/Rio



ProVisionaire Control V1.0.0

- リリースバージョン

既知の不具合

- 解像度が異なるマルチディスプレイ環境下で他のディスプレイにウィンドウを移動させると、ウィンドウが表示されなくなることがあります。
この場合、以下の手順で再表示できます。
 - タスクバーの ProVisionaire Control のアイコンを<Shift>キーを押しながら右クリックして、[移動]を選択する。
 - マウスカーソルの位置にウィンドウが移動させるために、カーソルキーのいずれかを押す。
 - ウィンドウを移動させたあと、クリックして移動場所を確定する。
- Button や Slider などの操作系ウィジェットを配置したあと、Line や Polygon などの表示系ウィジェットを近くに配置すると、操作系ウィジェットを KIOSK で操作できません。たとえば Line なら始点と終点を対角線とした矩形が範囲となります。
表示系ウィジェットを背面に移動させることで操作できるようになります。

- Terminal などのビットマップフォントでフォントサイズを大きくすると、[Zoom Origin]のときに Label などが表示されないことがあります。
[Zoom Origin]以外にすると表示されます。

お知らせ

- Tio1608-D を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF、R Remote、MTX-MRX Editor、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。
- また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、TF、MTX-MRX Editor、R-Remote、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。

SCP Port of Tio/Rio

